

遠山邸大広間

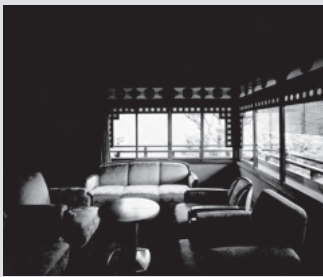
端午の節句飾り

4/14(水)-5/5(水)



遠山邸 2 階

公開日



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年度は2階公開を中止させていただきます。

遠山邸大広間

雛壇飾り

2/11(金)-3/13(日)



2021

4/3 (土)-5/30 (日)

特別展

遠山記念館の50年

1970年5月10日、旧日興証券(現SMBC日興証券)創業者である遠山元一は、自らの建築した旧遠山家住宅と、蒐集した美術コレクションを公開するため、財団法人遠山記念館を開館させました。遠山記念館では2020年に開館50周年を迎えるにあたり、この50年のあゆみを振り返るとともに、これを記念して重要文化財6件、重要美術品9件、名物3点を一堂に集め、当館を代表する作品を一挙に公開いたします。

※新型コロナウイルスの影響により会期を変更いたしました。

6/12 (土)-9/26 (日)

コレクション展 1

日本美術から中国美術、オリエント美術、アンデス美術と、幅広いコレクションを所蔵する遠山記念館のコレクションの中から、「色絵蝶牡丹に鳥文鉢」をはじめ、各分野の優品を選んで展示いたします。

10/9 (土)-11/28 (日)

織の世界に遊ぶ心
—小林桂子の布創り—

織物研究家である小林桂子氏は、世界の織物を収集し、その技法について研究をすすめながら、そこで得た知見を活かした作品を創り出してきました。この展覧会では、2013年～2019年に寄贈された小林氏のコレクションと作品を合わせて展覧し、世界の織物の伝統的な技法や文様が、豊かな感性により「アート」として捉えられ、新たな魅力を発する姿をみてゆきます。

2022

12/11 (土)-1/23 (日)

コレクション展 2

年末から年始にかけてのコレクション展。遠山記念館の所蔵品の中から、伝俵屋宗達「大蟲図」、森鳳聲「虎」をはじめとし、干支にちなんだ彫刻や小袖類など、新春を迎えるのにふさわしい美術品を展示いたします。

2/11 (金)-3/13 (日)

雛の世界

江戸期に開花した人形文化は、日本独自の雛人形を母体として、多種多様な人形を生み出してきました。享保雛、次郎左衛門雛、古今雛や高さが2cm程の芥子雛、また近代の名工の作品など、様々な雛人形の他、嵯峨人形、御所人形、賀茂人形、抱き人形などを展示し、日本の人形の歴史をたどっていきます。日本の人形が持つ魅力をご堪能ください。

※新型コロナウイルス等の影響により予定が変更となる場合がありますので、最新の情報は当館ホームページまたはお電話等にてご確認ください。



佐竹本三十六歌仙絵 頼基



色絵蝶牡丹に鳥文鉢



小林桂子「ポジャギの門」



伝俵屋宗達「大蟲図」



享保雛

開館時間 午前10:00～午後4:30(入館は4:00まで)

入館料 特別展 大人1,000円(800円) 学生800円(640円)

通常 大人800円(640円) 学生600円(480円)

中学生以下は無料、()は団体料金です。

休館日 月曜日(祝祭日の場合は開館、翌日休館)

また下記の日程で休館させていただきます。

4/13(火), 5/7(金), 12/21(火)～20221/5(水),

2/10(木), 3/15(火)